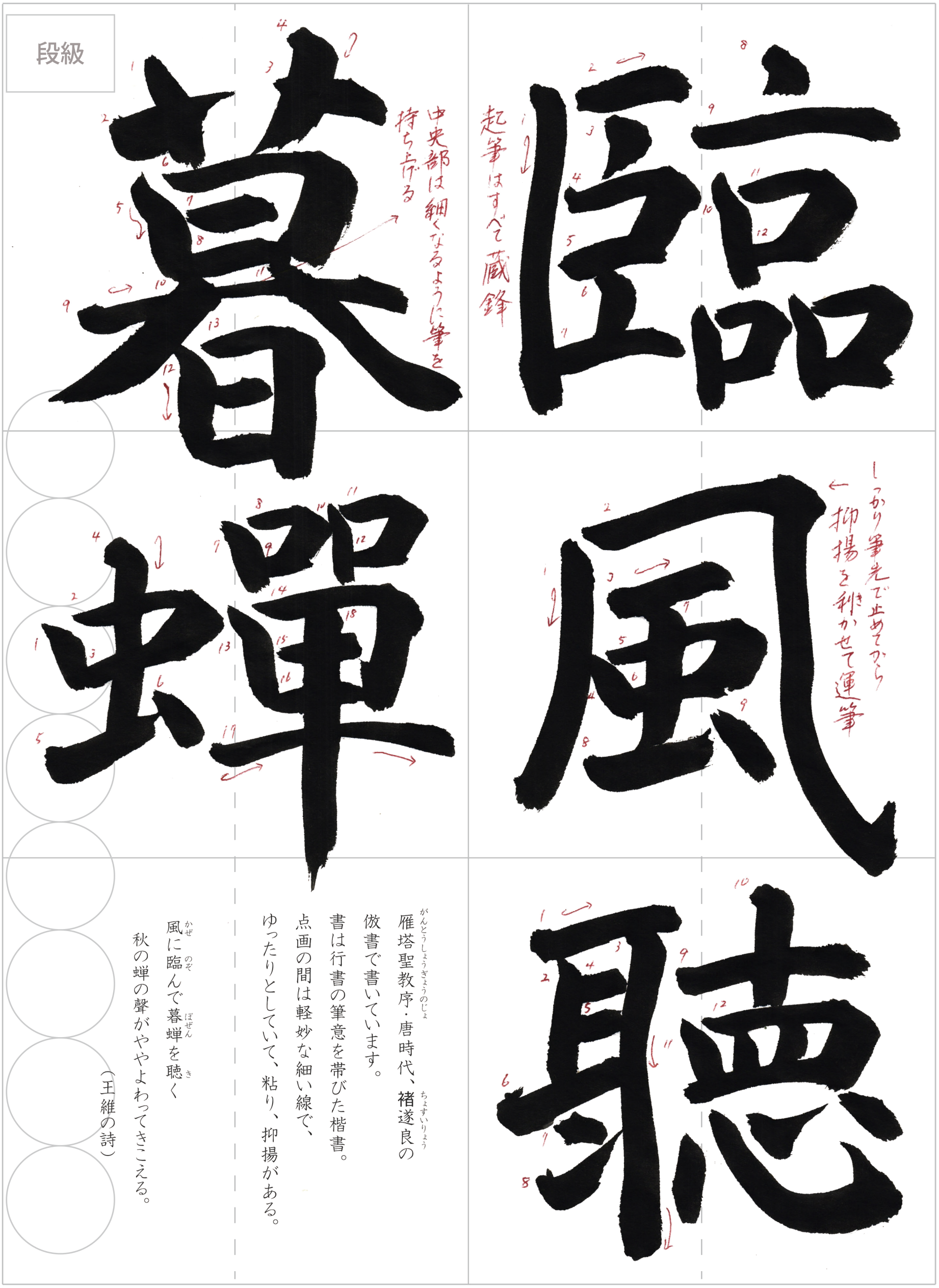
段級



雁塔聖教序（がんとうしょうぎょうのじょ）・唐時代、褚遂良（ちょすいりょう）の
倣書で書いています。
書は行書の筆意を帯びた楷書。
点画の間は軽妙な細い線で、
ゆったりとしていて、粘り、抑揚がある。

風（かぜ）に臨（のぞ）んで暮蟬（ぼぜん）を聴（き）く
秋の蟬の聲がややよわってきこえる。
（王維の詩）

一般　楷書　9月

書道総研